

パンスター・ドリームの釜山クルーズ(その2)

事務局長 池田良穂

まだ真っ暗な早朝に関門海峡を抜けて、船はいよいよ玄界灘に入りました。朝から抜けるような快晴で、波もなく、すべるように「パンスター・ドリーム」は北に針路をとって進みました。シップウォッチングが楽しみな筆者にとって嬉しいのは、前方が見渡せるラウンジ「パラダイス」があること。ここには、コーヒー等の飲み物とお菓子が用意されています。デラックス客だけが使える特別室になっていて、客はカードによってオープンできます。写真を撮るときにはラウンジをでて、近くの階段を上るとすぐにオープンデッキにでることができます。

途中で何隻かの貨物船と遭遇しました。やがて釜山の高層ビルが見え始めて、いよいよ釜山港への入港です。釜山の入港は12時10分でした。



対馬海峡では種々の貨物船と遭遇しました。



大型船は新港に移ったため、釜山港内の船は中小型船ばかりとなっていました。

下船後サンスターラインが手配してくれたマイクロバスで出発し、釜山駅の近くの韓国料理店でピビンバの昼食をとり、甘川の芸術村を車窓から眺めてから、影山の海洋博物館を見学。釜山港大橋を渡って、海に面したお寺として有名な海東龍宮寺を参拝してから、ソミョンのホテルに入りました。日系の東横インですが、この日は満室の盛況ぶりでした。

バスガイドがお勧めの近くの豚肉料理専門店で、みんなで夕食をとることにしましたが、超人気店らしく30分近く待ってようやく席につくことができました。

翌日は船がでるまで自由行動だったので、筆者は南浦のロッテ百貨店の屋上公園に出かけてシップウォッチングを楽しみました。最近はここが釜山で最もお気に入りの撮影ポイントとなっています。あいにく雲が厚くて暗い写真になったので1時間ほど粘っていましたが、ついに太陽は顔をだしませんでした。

屋上公園からは、済州島航路に就航する「ニュー・スカイ」の姿も見えました。元オレンジフェリーの「おりんじ8」が前身です。

15時に「パンスター・ドリーム」は釜山港を出港しました。大阪出港時と同じく、展望ラウンジ「夢」で一杯飲みながら、出港風景を楽しみました。港内では済州島航路の新鋭フェリー「シルバー・クラウド」がドック入りしているのが撮影できました。

やがて対馬海峡の幹線航路と交わるころでは1万個積みの大型コンテナ船をはじめとして結構たくさんの貨物船と出会いました。

関門海峡の通過は21時過ぎでした。



南浦のロッテデパートの屋上からの撮影です。客船埠頭が見渡せます。



建造中の韓国空母??



セレブリティ・ミレニアムが入港していました。



新鋭フェリー「シルバー・クラウド」がドック中でした。



はるか遠く見えた船ですが、舷側が一定間隔で白く塗装されている不思議な船でした。



対馬海峡では COSCO の大型コンテナ船と遭遇しました。

翌朝、目覚めると船は播磨灘に入ったところでした。シノトランスの小型コンテナ船を追い抜いた後は、ほとんど目ぼしい船との出会いはなく、瀬戸内海の海上交通はかつての賑やかさを失っているようにも思えました。明石海峡付近でジャンボフェリーの「こんびら 2」や井本商会の内航フィーダー航路の小型コンテナ船を追い抜きました。

大阪南港に着岸したのは 10 時 20 分。3 泊 4 日の学会の乗船会が終了しました。



船首尾に「ねこ」の塗装を施した「こんびら 2」